

[初出一覧]

本書の各章の初出は以下の通りである。それぞれの初出論文には一部加筆修正を施したことを断っておく。

第Ⅰ部

第1章「日本の英文学研究と戦争」（『英米文学と戦争の断層』、関西大学出版部、2011年）

第2章「『日本の英文学研究』考」（『外国語学部紀要』第9号、関西大学外国語学部、2013年）

第Ⅱ部

第1章「ドーラ頌—『デイヴィッド・コパーフィールド』論」（『イギリス文学評論Ⅳ』、創元社、1992年）

第2章「『デイヴィッド・コパーフィールド』—増幅する自我—」（『イギリス小説入門』、創元社、1997年）

第3章「*Great Expectations* の謎」（*Poiesis* 第6号、関西大学大学院英語英米文学研究会、1978年）

第4章「*Great Expectations* の結末考」（『研究紀要』第11巻第2号、近畿大学教養部、1979年）

第5章「『大いなる遺産』の人物たち」（『近代風土』第22号、近畿大学出版部、1985年）

第6章「『大いなる遺産』のピップ像」（『研究紀要』第13巻第1号、近畿大学教養部、1981年）

第7章「『大いなる遺産』—ヒロインの変容・虚像と実像の狭間で—」（『ヴィクトリア朝の小説—女性と結婚—』、英宝社、1999年）

- 第8章「*Oliver Twist*における Nancy 像について」(『常磐会短期大学紀要』第7巻、1979年)
- 第9章「*Oliver Twist*の謎」(『研究紀要』第12巻第2号、近畿大学教養部、1980年)
- 第10章「『オリヴァー・トゥイスト』—翻訳本に見るディケンズ像」(『楽しめるイギリス文学—その栄光と現実—』、金星堂、2002年)
- 第11章「*Hard Times*に関する一考察」(*Poiesis*第4号、関西大学大学院英語英米文学研究会、1977年)
- 第12章「*Hard Times*の謎」(『研究紀要』第12巻第3号、近畿大学教養部、1981年)
- 第13章「*Hard Times*における作家の人間洞察眼」(『研究紀要』第14巻第1号、近畿大学教養部、1982年)
- 第14章「*Hard Times*再考」(『研究紀要』第17巻第2号、近畿大学教養部、1985年)
- 第15章「ディケンズの小説作法」(『研究紀要』第21巻第2号、近畿大学教養部、1989年)
- 第16章「E. M. フォースター『インドへの道』考」(『近代風土』第29号、近畿大学出版部、1988年)
- 第17章「*The American*に関する一考察」(『千里山文学論集』第18号、関西大学大学院文学研究科院生協議会、1977年)
- 第18章「英語教育における英文学研究の意義」(『関西大学教職課程研究センター年報』第15号、2001年)
- 第19章「英文学研究と言語意識」(『日本英語コミュニケーション学会紀要』第16巻第1号、2007年)
- 第20章「ブロンテ姉妹はわれらが救世主たりうるか」(『外国語研究—言語・文化・教育の諸相』、ユニウス、2002年)

第 21 章「小説と読者」(『香散見草』第 10 号、近畿大学中央図書館、1988 年)

第 22 章「外国語教育における活字メディアの意義」(『関西大学視聴覚教育』第 20 号、1997 年)

第 23 章「活字メディアと映像メディア」(『関西大学教職課程研究センター年報』第 10 号、1996 年)

第 24 章「英語科教育法の現状と課題—担当者からの問題提起—」(『関西大学教職課程研究センター年報』第 13 号、1999 年)

[参考文献]

- アーウィン、マーガレット他『真夜中の黒ミサ』羽田詩津子・長井裕美子訳、朝日ソノラマ、1985
- 赤井文乗（編）『英語研究』（ディケンズ没後 100 年記念臨時増刊号）研究社、1970 年 6 月
- 秋田茂『イギリス帝国の歴史』中央公論新社、2012
- 朝日新聞「新聞と戦争」取材班『新聞と戦争（上、下）』朝日新聞出版、2011
- 天野郁夫『学歴の社会史—教育と日本の近代』新潮社、1992
- 荒川龍彦『現代英國の文學思想』理想社出版部、1940
- 池田浩士『教養小説の崩壊』現代書館、1979
- 伊勢芳夫・マムヌール・ラハマン『「反抗者」の肖像—イギリス・インド・日本の近代化言説形成—編成一』溪水社、2013
- 磯貝英夫（編）『林芙美子』新潮社、1986
- 市河三喜『英文法研究』研究社、1912
- 井出祥子『わきまへの語用論』大修館書店、2006
- 伊東祐史『戦後論—日本人に戦争をした「当事者意識」はあるのか』平凡社、2010
- 井上ひさし『この人から受け継ぐもの』岩波書店、2010
- 入子文子（編）『英米文学と戦争の断層』関西大学出版部、2011
- 岩井克人『会社はこれからどうなるのか』平凡社、2009
- ウィルソン、アンガス『ディケンズの世界』松村昌家訳、英宝社、1979
- 上田和夫（編）『別冊英語青年』研究社、1984 年 6 月

- 植田康夫他『変貌する読書空間』学陽書房、1982
- ウェーバー、マックス『職業としての学問』1919；三浦展訳、プレジデント社、2009
- 宇佐見太市『ディケンズと「クリスマス・ブックス」』関西大学出版部、2000
- 宇佐見太市他（編）『外国語研究—言語・文化・教育の諸相』ユニウス、2002
- 宇佐見太市他（編）『楽しめるイギリス文学—その栄光と現実—』金星堂、2002
- 内多毅『イギリス小説の社会的成立』研究社、1960
- 内多毅『イギリス市民社会と現代文明』鷹書房、1978
- 内多毅（監修）『イギリス文学評論IV』創元社、1992
- 内田能嗣（編）『イギリス小説入門』創元社、1997
- 内田能嗣（編）『ヴィクトリア朝の小説—女性と結婚—』英宝社、1999
- 梅棹忠夫『情報の文明学』中央公論社、1988
- 江藤淳『作家は行動する—文体について—』講談社、1959
- 江藤淳『西洋の影』新潮社、1962
- 江藤淳『閉された言語空間—占領軍の検閲と戦後日本』文藝春秋、1989
- 江藤淳（監修）『昭和史—その遺産と負債』朝日出版社、1989
- NHK 取材班（編）『日本人はなぜ戦争へと向かったのか（上、下）』NHK出版、2011
- 海老池俊治『ディケンズ』研究社、1955
- 海老池俊治『明治文学と英文学』明治書院、1968
- エンデ、ミヒャエル『はてしない物語』上田真而子・佐藤真理子訳、岩波書店、1982
- 大井浩二『アメリカの神話と現実』研究社、1979

- オーウェル、ジョージ『オーウェル評論集』小野寺健編訳、岩波書店、1982
- 大江健三郎『言葉によって』新潮社、1976
- 大江健三郎『小説の方法』岩波書店、1978
- 大岡昇平『文学における虚と実』講談社、1976
- 大岡昇平『戦争』岩波書店、2007；初版は大光社、1970
- 大久保喬樹「ブロンテ家の男たち」『新潮』新潮社、2000年1月号
- 大津由紀雄『危機に立つ日本の英語教育』慶応義塾大学出版会、2009
- 大西昭男『見ようとする意志—ヘンリー・ジェイムズ論—』関西大学出版部、1994
- 沖縄大学地域研究所（編）『戦争の記憶をどう継承するのか』芙蓉書房出版、2012
- 奥泉光『ノヴァーリスの引用』新潮社、1993
- 奥野健男『伊藤整』潮出版社、1980
- 小村公次『徹底検証・日本の軍歌—戦争の時代と音楽』学習の友社、2011
- カザミアン、ルイ『イギリスの社会小説（1830—1850）』石田憲次・白田昭訳、研究社、1958
- 加藤周一『現代ヨーロッパの精神』岩波書店、1959
- 加藤周一『加藤周一 戦後を語る』かもがわ出版、2009
- 加藤周一『言葉と戦車を見すえて—加藤周一が考えつづけてきたこと』筑摩書房、2009
- 加藤秀俊『情報行動』中央公論社、1972
- 加藤秀俊『独学のすすめ』文藝春秋、1978
- 加藤陽子『戦争の論理—日露戦争から太平洋戦争まで—』勁草書房、2005
- 加藤陽子『戦争を読む』勁草書房、2007
- 加藤陽子『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』朝日出版社、2009
- 要田圭治『ヴィクトリア朝の生権力と都市』音羽書房鶴見書店、2009

- 亀井俊介『英文学者 夏目漱石』松柏社、2011
- 亀井規子『ヴィクトリア朝の小説』研究社、1991
- 柄谷行人『反文学論』冬樹社、1979
- 河合隼雄『日本文化のゆくえ』岩波書店、2000
- 川北稔『洒落者たちのイギリス史』平凡社、1993
- 川久保剛『福田恆存』ミネルヴァ書房、2012
- 川崎寿彦『鏡のマニエリスム』研究社、1978
- 河路由佳『日本語教育と戦争—「国際文化事業」の理想と変容』新曜社、
2011
- 川澄英男『ディケンズとアメリカ—19世紀アメリカ事情』彩流社、1998
- 河出書房新社（編）『作家と戦争』河出書房新社、2011
- 河出書房新社（編）『吉田健一』河出書房新社、2012
- 川戸道昭・榊原貴教（編）『明治翻訳文学全集<新聞雑誌編>六 ディケンズ集』大空社、1996
- 川本静子『イギリス教養小説の系譜』研究社、1973
- 関西大学教職課程研究センター（編）『関西大学教職課程研究センター年報』第15号、2001
- 木佐芳男『<戦争責任>とは何か』中央公論新社、2001
- 木下順二「「見る」ということ」『図書』岩波書店、1977年7月号
- 木村一信（編）『戦時下の文学—拡大する戦争空間』インパクト出版会、
2000
- 京都外国語大学附属図書館（編）『チャールズ・ディケンズ—作品と参考文献』京都外国語大学附属図書館、1975
- 桐生操「エミリー・ブロンテ—実兄との近親相姦も疑われている異才」『イギリス不思議な幽霊屋敷』PHP、1999
- キーン、ドナルド『このひとすじにつながりて』金関寿夫訳、朝日新聞社、

1993

キーン、ドナルド『日本人の戦争—作家の日記を読む』角地幸男訳、文藝春秋、2009

キーン、ドナルド&平野啓一郎「戦争と日本の作家」『文学界』文藝春秋、2009年9月号

キーン、ドナルド&小池政行『戦場のエロイカ・シンフォニー—私が体験した日米戦』藤原書店、2011

キーン、ドナルド『ドナルド・キーン著作集』第五巻・日本人の戦争、新潮社、2012

国弘正雄『英語の話しかた』サイマル出版会、1970

ケストナー、エーリヒ『点子ちゃんとアントン』高橋健二訳、岩波書店、1955

小池滋『幸せな旅人たち』南雲堂、1962

小池滋『ロンドン』中央公論社、1978

小池滋『ディケンズ—19世紀信号手』冬樹社、1979

小池滋『英国鉄道物語』晶文社、1979

小池滋『ディケンズとともに』晶文社、1983

小池滋他（編）『青木雄造著作集』南雲堂、1986

小池滋他（編）『イギリス／小説／批評』南雲堂、1986

小池滋『島国の世紀—ヴィクトリア朝英国と日本』文藝春秋、1987

香内三郎『ベストセラーの読まれ方』日本放送出版協会、1991

河野多恵子『不意の声』講談社、1968

河野多恵子『戯曲 嵐が丘』河出書房新社、1970

河野多恵子『文学の奇蹟』河出書房新社、1974

河野多恵子『気分について』福武書店、1982

河野多恵子・富岡多恵子『嵐ヶ丘ふたり旅』文藝春秋、1986

- 河野多恵子『ニューヨークめぐり会い』中央公論社、1997
- 河野多恵子『秘事』新潮社、2000
- 河野多恵子「現代文学創作心得」『文学界』文藝春秋、2001年3月号
- 国学院雑誌編集委員会（編）『国学院雑誌』国学院大学、1998年1月号
- 国立国会図書館（編）『明治・大正・昭和翻訳文学目録』風間書房、1972
- 五島忠久・織田稔『英語科教育—基礎と臨床』研究社、1977
- 小林章夫『大英帝国のパトロンたち』講談社、1994
- 小林敏明『憂鬱な国／憂鬱な暴力—精神分析的日本イデオロギー論』以文社、2008
- 小松原茂雄『ディケンズの世界』三笠書房、1989
- 小山路男『西洋社会事業史論』光生館、1978
- 近藤いね子『イギリス小説論』研究社、1952
- 近藤いね子（編）『小説と社会』研究社、1973
- 近藤耕人『映像言語と想像力』三一書房、1971
- 西條隆雄『ディケンズの文学—小説と社会—』英宝社、1998
- 斎藤繁『世界十大小説への招待』文藝春秋、2013
- 斎藤兆史『日本人と英語—もうひとつの英語百年史』研究社、2007
- 斎藤兆史（編）『言語と文学』朝倉書店、2009
- 斎藤兆史『教養の力 東大駒場で学ぶこと』集英社、2013
- 桜井哲夫『TV魔法のメディア』筑摩書房、1994
- 櫻庭信之『イギリスの小説と絵画』大修館書店、1983
- 指昭博（編）『生活文化のイギリス史』同文館出版、1996
- 重久篤太郎『明治文化と西洋人』思文閣出版、1987
- 篠田一士（編）『ロマン派文学とその後』研究社、1980
- 司馬遼太郎『人間の集団について』中央公論社、1974
- 司馬遼太郎『アメリカ素描』読売新聞社、1986

- 司馬遼太郎『民族と国家を超えるもの—司馬遼太郎対話選集 10』文藝春秋、2006
- 社団法人大学英語教育学会（編）*JACET Journal* No. 49、2009
- シュリア、ミシェル「始まりと終わり、天国と地獄」中条省平訳、『リテール』第4号、1993
- 庄野誠一（編）『文學界』第9巻第10号、文藝春秋、1942年10月号
- 白井厚『大学における戦没者追悼を考える』慶應義塾大学出版会、2012
- しんせい会（編）『教養小説の展望と諸相』三修社、1977
- 菅原克也『英語と日本語のあいだ』講談社、2011
- 世界思想社（編）『世界思想』世界思想社、2009春36号
- 関谷博『幸田露伴の非戦思想』平凡社、2011
- ゼーバルト、W. G.『空襲と文学』鈴木仁子訳、白水社、2008
- ゾペティ、デビット『いちげんさん』集英社、1997
- 大学英語教育学会文学研究会（編）『＜英語教育のための文学＞案内事典』彩流社、2000
- 高田里恵子『文学部をめぐる病い—教養主義・ナチス・旧制高校』松籟社、2001
- 高橋和己『文学の責任』河出書房、1967
- 高橋和己『現代の青春』旺文社、1973
- 高山京子『林芙美子とその時代』論創社、2010
- 滝裕子『ディケンズの人物たち—その精神構造の諸相』槐書房、1982
- 滝浦真人『お喋りなことば—コミュニケーションが伝えるもの』小学館、2000
- 武井暁子他（編）『ヴィクトリア朝の都市化と放浪者たち』音羽書房鶴見書店、2013
- 竹内洋『日本人の出世観』学文社、1978

竹内洋『革新幻想の戦後史』中央公論新社、2011

竹内洋『メディアと知識人—清水幾太郎の覇権と忘却』中央公論新社、2012

竹友藻風『文學遍路』梓書房、1933

多田元樹『「マルチメディア」で学校はどう変わるか』明治図書、1995

立花隆『「知」のソフトウェア』講談社、1984

巽孝之『「英文学者」という原点』産経新聞、1999年7月29日

田中孝信『ディケンズのジェンダー観の変遷』音羽書房鶴見書店、2006

チール、デボラ『大いなる遺産』永井喜久子訳、徳間書店、1998

辻邦生『小説への序章』河出書房新社、1968

辻邦生『外国文学の愉しみ』第三文明社、1998

筒井康隆『文学部唯野教授』岩波書店、1990

網澤満昭『思想としての道徳・修養』海風社、2013

角山栄『産業革命と民衆』河出書房新社、1975

角山栄・川北稔（編）『路地裏の大英帝国—イギリス都市生活史』平凡社、1982

寺西武夫『ディケンズ』研究社、1934

東宝出版事業室（編）『ミュージカル・オリバー！』東宝出版、1990

梅正行『コヴェント・ガーデン』河出書房新社、1999

梅正行他『ヨーロッパの光と影』勁草書房、2012

常盤新平『アメリカが見える窓』徳間書店、1984

常盤新平『遠いアメリカ』講談社、1986

トドロフ、ツヴェタン『文学が脅かされている』2007；小野潮訳、法政大学出版局、2009

富岡多恵子『「英会話」私情』集英社、1983

外山滋比古『外国語の読みと創造』研究社、1980

豊田實『日本英学史の研究』岩波書店、1939

- 中岡洋・内田能嗣（編）『ブロンテ文学のふるさと』大阪教育図書、1999
- 中島梓『コミュニケーション不全症候群』筑摩書房、1991
- 中島梓『タナトスの子供たち—過剰適応の生態学』筑摩書房、1998
- 長島伸一『世紀末までの大英帝国』法政大学出版局、1987
- 中西輝政『国まさに滅びんとす』集英社、1998
- 中西敏一『チャールズ・ディケンズの英国』開文社出版、1976
- 中西敏一『イギリス文学と監獄』開文社出版、1991
- 中野利子『父 中野好夫のこと』岩波書店、1992
- 中野好夫『酸っぱい葡萄』みすず書房、1979
- 中村真一郎『小説家ヘンリー・ジェイムズ』集英社、1991
- ナボコフ、ウラジミール『ヨーロッパ文学講義』野島秀勝訳、TBSブリタニカ、1982
- 並木光晴他（編）『中央公論』中央公論新社、2009年2月号
- 新野緑『小説の迷宮—ディケンズ後期小説を読む』研究社、2002
- 西垣通『マルチメディア』岩波書店、1994
- 西垣通『インターネットの5年後を読む』光文社、1996
- 西山雄二（編）『人文学と制度』未来社、2013
- 日本放送協会（編）『戦争と文学』日本放送出版協会、1942
- ノーマ・フィールド・岩崎稔・成田龍一『ノーマ・フィールドは語る—戦後・文学・希望』岩波書店、2010
- 橋本楨矩・榎正行（編）『現代インド英語小説の世界—グローバリズムを超えて』鳳書房、2011
- 長谷川潮『少女たちへのプロパガンダ』梨の木舎、2012
- 長谷部葉子『今、ここを真剣に生きていますか？—やりたいことを見つけたあなたへ』講談社、2012
- 畑中繁雄（編）『中央公論』中央公論社、1942年4月号

- ハマトン、フィリップ・ギルバート『知的生活』1873；渡部昇一・下谷和幸
訳、講談社、1979
- 馬場マコト『戦争と広告』白水社、2010
- 馬場マコト『花森安治の青春』白水社、2011
- 半藤一利『あの戦争と日本人』文藝春秋、2011
- 東田千秋（編）『作品と読者』前田書店、1977
- 東田千秋（編）『ディケンズを読む』南雲堂、1980
- 東田千秋（編）『イギリス小説の今昔』南雲堂、1985
- ピカート、マックス、『沈黙の世界』佐野利勝訳、みすず書房、1964
- 久守和子・吉田幸子（編）『イギリス女性作家の深層』ミネルヴァ書房、
1985
- 平岡敏夫（編）『漱石日記』岩波書店、1990
- 廣野由美子『十九世紀イギリス小説の技法』英宝社、1996
- 深瀬基寛『現代英文学の課題』弘文堂書房、1939
- 福原麟太郎『福原麟太郎著作集 10—英文学評論』研究社、1970
- 北條文緒『ニューゲイト・ノヴェル—ある犯罪小説群』研究社、1981
- 阪正康『作家たちの戦争』毎日新聞社、2011
- 星野紘一郎（編）『文学』岩波書店、隔月刊第一卷第三号 2000年5・6月合
併号
- 本多顕彰『孤獨の文學者』八雲書店、1947
- 前田愛『文学テキスト入門』筑摩書房、1988
- 榊井迪夫『アメリカ文化の特性』京極書店、1943
- 榊井迪夫・田辺昌美（編）『ディケンズの文学と言語』三省堂、1972
- 松浦和夫『文学者 知られざる真実』近代文藝社、2012
- 松浦寿輝（編）『文学のすすめ』筑摩書房、1996
- 松村昌家『明治文学とヴィクトリア時代』山口書店、1981

- 松村昌家・藤田実（編）『文学における悪』南雲堂、1981
- 松村昌家『ディケンズとロンドン』研究社、1981
- 松村昌家（編）『ヴィクトリア朝小説のヒロインたち—愛と自我』創元社、1988
- 松村昌家『ディケンズの小説とその時代』研究社、1989
- 松村昌家『ヴィクトリア朝の文学と絵画』世界思想社、1993
- 松村昌家（編）『日本とヴィクトリア朝英国—交流のかたち—』大阪教育図書、2012
- 松本道介『反学問のすすめ』邑書林、2002
- 美内すずえ『ガラスの仮面』白泉社、第4巻・第5巻、1994
- 水村美苗『私小説 from left to right』新潮社、1995
- 三田誠広『大学時代をいかに生きるか』光文社、1995
- 蓑原俊洋（編）『「戦争」で読む日米関係100年』朝日新聞出版、2012
- 宮崎孝一『ディケンズ小説論』研究社、1959
- 宮崎孝一・川本静子『小説の世紀』開拓社、1968
- 宮崎孝一『イギリス小説論考』開拓社、1971
- 宮崎孝一『ディケンズ論考』三省堂、1974
- 宮崎孝一（編）『ディケンズ—後期の小説』英潮社、1977
- 宮崎芳三『太平洋戦争と英文学者』研究社、1999
- 向坊隆（他）『子ども』東京大学出版会、1979
- 村岡健次「19世紀イギリス・ジェントルマン」『思想』、岩波書店、1975年
第6号
- 村上春樹『ノルウェイの森』講談社、1987
- モーム、ウィリアム・サマーセット『世界の十大小説（上）』西川正身訳、
岩波書店、1958
- 山口昌男『学校という舞台』講談社、1988

- 山崎正和『近代の擁護』PHP 研究所、1994
- 山田浩・森利一（編）『戦争と平和に関する総合的考察』広島大学総合科学部、1979
- 山中恒『戦時児童文学論』大月書店、2010
- 山本史郎『東大の教室で『赤毛のアン』を読む』東京大学出版会、2008
- 山本史郎『名作英文学を読み直す』講談社、2011
- 山本忠雄『英國民と清教主義』京極書店、1943
- 山本忠雄『ディケンズの英語』研究社、1951
- 山本忠雄他『ディケンズの文体』南雲堂、1960
- 山脇百合子『英国女流作家論』北星堂書店、1978
- 横山幸三（監修）『英語圏文学—国家・文化・記憶をめぐるフォーラム』人文書院、2002
- 吉本ばなな『キッチン』福武書店、1988
- 米原万里『米原万里の「愛の法則」』集英社、2007
- 読売新聞社（編）『エリート教育は必要か—戦後教育のタブーに迫る』「読売ぶっくれっと」No. 23、読売新聞社、2000
- 読売新聞社会部『贖罪』中央公論社、2011
- リフトン、ロバート・J『ヒロシマを生き抜く—精神史的考察（上、下）』榊井迪夫・湯浅信之・越智道雄・松田誠思訳、岩波書店、2009
- 協明子『幻想の論理』講談社、1974
- 早稲田大学比較文学研究室（編）『比較文学年誌』第 47 号、早稲田大学比較文学研究室、2011
- Ackroyd, Peter, *Dickens* (Sinclair-Stevenson, 1990)
- Adrian, Arthur A., *Dickens and the Parent-Child Relationship* (Ohio Univ. Press, 1984)

- Allen, Michael, *Charles Dickens' Childhood* (Macmillan, 1988)
- Allen, Walter, *The English Novel* (Littlehampton Book Services Ltd, 1954)
- Axton, William F., *Circle of Fire* (Kentucky Univ. Press, 1966)
- Blackmur, R. P. (ed.), *The Art of the Novel: Critical Prefaces of Henry James* (Scribner's, 1962)
- Bloom, Harold (ed.), *Charles Dickens's David Copperfield* (Chelsea House, 1987)
- Booth, Wayne C., *The Rhetoric of Fiction* (Chicago Univ. Press, 1961)
- Bowers, Fredson (ed.), *Vladimir Nabokov: Lectures on Literature* (Harcourt Brace Jovanovich, 1980)
- Bradley, J. L. (ed.), *Selections from 'London Labour and the London Poor'* (Oxford Univ. Press, 1965)
- Brannan, Robert Louis (ed.), *Under the Management of Mr. Charles Dickens* (Cornell Univ. Press, 1966)
- Brook, G. L., *The Language of Dickens* (Andre Deutsch, 1970)
- Brown, Julia Prewitt, *A Reader's Guide to the Nineteenth-Century English Novel* (Macmillan Publishing Company, 1985)
- Buckley, Jerome Hamilton, *Season of Youth* (Harvard Univ. Press, 1974)
- Burgess, Anthony, *The Novel Now* (Faber & Faber, 1971; first published 1967)
- Butt, John & Tillotson, Kathleen, *Dickens at Work* (Methuen, 1968; first published 1957)
- Cecil, David, *Early Victorian Novelists* (Constable & Company Limited, 1964)
- Chesterton, G. K., *Charles Dickens* (Methuen, 1906)
- Chesterton, G. K., *Appreciations and Criticisms of the Works of Charles*

- Dickens* (Haskell House, 1970; first published 1911)
- Clark, Cumberland, *Dickens' London* (Haskell House, 1973)
- Clark, G. Kitson, *The Making of Victorian England* (Methuen, 1962)
- Cockshut, A. O. J., *The Imagination of Charles Dickens* (Collins, 1961)
- Collins, Philip (ed.), *Charles Dickens: The Critical Heritage* (Routledge & Kegan Paul, 1971)
- Collins, Philip (ed.), *Charles Dickens: The Public Readings* (Oxford Univ. Press, 1975)
- Collins, Philip (ed.), *Dickens: Interviews and Recollections* 2 vols. (Macmillan, 1981)
- Cook, Guy, *Translation in Language Teaching: An Argument for Reassessment* (Oxford Univ. Press, 2010)
- Coveney, Peter, *The Image of Childhood* (Penguin Books, 1967; first published 1957)
- Cross, John & Pearson, Gabriel (eds.), *Dickens and the Twentieth Century* (Routledge & Kegan Paul, 1962)
- Dabney, Ross H., *Love and Property in the Novels of Dickens* (California Univ. Press, 1967)
- Daleski, H. M., *Dickens and the Art of Analogy* (Faber & Faber, 1970)
- Darwin, Bernard, *Dickens* (Haskell House, 1973)
- Davis, Earle, *The Flint and the Flame: The Artistry of Charles Dickens* (Missouri Univ. Press, 1963)
- Davis, Earle (ed.), *Essays and Papers Presented to C. A. Bodelsen on His Seventieth Birthday* (Nature Method Centre, 1964)
- Drew, John M. L., *Dickens the Journalist* (Palgrave Macmillan, 2003)
- Eaglestone, Robert, *Doing English: A Guide for Literature Students*, second

- edition (London: Routledge, 2002)
- Engel, Monroe, *The Maturity of Dickens* (Harvard Univ. Press, 1959)
- Fielding, K. J., *Charles Dickens: A Critical Introduction* (Longmans, 1958)
- Fielding, K. J. (ed.), *The Speeches of Charles Dickens* (Oxford Univ. Press, 1959)
- Ford, George H., *Dickens and His Readers* (Princeton Univ. Press, 1955)
- Ford, George H. & Lane, Lauriat, Jr. (eds.), *The Dickens Critics* (Cornell Univ. Press, 1961)
- Forster, E. M., *Aspects of the Novel* (Edward Arnold, 1927)
- Forster, John, *The Life of Charles Dickens* 3 vols. (Chapman & Hall, 1872-74)
- Frank, Lawrence, *Charles Dickens and the Romantic Self* (Nebraska Univ. Press, 1984)
- Garis, Robert, *The Dickens Theatre: A Reassessment of the Novels* (Oxford: Clarendon Press, 1965)
- Gissing, George, *Charles Dickens: A Critical Study* (Kennikat, 1966; first published 1898)
- Gissing, George, *The Immortal Dickens* (Cecil Palmer, 1925)
- Glavin, John (ed.), *Dickens on Screen* (Cambridge Univ. Press, 2003)
- Gomme, A. H., *Dickens* (Evans Brothers, 1971)
- Granville, H. Jones, *Henry James's Psychology of Experience* (Mouton, 1975)
- Hardy, Barbara, *The Moral Art of Dickens* (Athlone, 1970)
- Hayward, Arthur L., *The Dickens Encyclopaedia* (Routledge, 1924)
- Holbrook, David, *Charles Dickens and the Image of Woman* (New York Univ. Press, 1993)
- Houghton, W. E., *The Victorian Frame of Mind* (Yale Univ. Press, 1957)

- House, Humphry, *The Dickens World* (Oxford Univ. Press, 1941)
- House, Madeline & Storey, Graham (eds.), *The Pilgrim Edition of the Letters of Charles Dickens* (Oxford Univ. Press, 1965-)
- Hughes, James L., *Dickens as an Educator* (D. Appleton, 1914)
- Humphrey, Robert, *Stream of Consciousness in the Modern Novel* (California Univ. Press, 1972)
- Irwin, Michael, *Picturing: Description and Illusion in the Nineteenth-Century Novel* (George Allen & Unwin, 1979)
- Johnson, Edgar, *Charles Dickens: His Tragedy and Triumph* (Victor Gollancz, 2vols., 1953; first published 1952)
- Jordan, John O. (ed.), *Charles Dickens* (Cambridge Univ. Press, 2001)
- Kaplan, Fred (ed.), *Charles Dickens' Book of Memoranda* (The New York Public Library, 1981)
- Kaplan, Fred, *Dickens: A Biography* (Hodder & Stoughton, 1988)
- Kennedy, Alan, *Meaning and Signs in Fiction* (Macmillan, 1979)
- Kettle, Arnold, *An Introduction to the English Novel* (Hutchinson & Co. Ltd., 1951)
- Kettle, Arnold, "Dickens: *Oliver Twist*" (1951), George H. Ford & Laurial Lane, Jr. (eds.), *The Dickens Critics* (Ithaca: Cornell Univ. Press, 1966)
- Kincaid, James R., *Dickens and the Rhetoric of Laughter* (Oxford: Clarendon Press, 1971)
- Kitton, F. G., *The Minor Writings of Charles Dickens* (Haskell House, 1970)
- Larkin, Maurice, *Man and Society in Nineteenth-Century Realism* (Macmillan, 1977)
- Leavis, F. R., *The Great Tradition* (Chatto & Windus, 1962; first published 1948)

- Leavis, F. R. & Leavis, Q. D., *Dickens the Novelist* (Chatto & Windus, 1970)
- Leavis, F. R., *Education and the University: A Sketch for an 'English School'* (Books for Libraries Press, 1972; first published 1943)
- Leavis, F. R., *The Common Pursuit* (Chatto & Windus, 1972)
- Leavis, Q. D., *Fiction and the Reading Public* (Chatto & Windus, 1978)
- Lettis, Richard & Morris, William E. (eds.), *Assessing Great Expectations* (Chandler Publishing Company, 1960)
- Levin, Harry, *The Essential James Joyce* (Penguin Books, 1972; first published 1948)
- Lewis, C. S., *The Allegory of Love: A Study in Medieval Tradition* (Oxford Univ. Press, 1977)
- Lodge, David, *Language of Fiction* (Columbia Univ. Press, 1966)
- Lubbock, Percy, *The Craft of Fiction* (Jonathan Cape, 1921)
- Lucas, John, *The Melancholy Man: A Study of Dickens's Novels* (Methuen, 1970)
- McMaster, Juliet, *Dickens the Designer* (Macmillan, 1987)
- Manning, John, *Dickens on Education* (Toronto Univ. Press, 1959)
- Manning, Sylvia, *Dickens as Satirist* (Yale Univ. Press, 1971)
- Marcus, Steven, *Dickens from Pickwick to Dombey* (Chatto & Windus, 1971; first published 1965)
- Meckier, Jerome, *Dickens's Great Expectations* (Kentucky Univ. Press, 2002)
- Miller, James E. Jr., *Theory of Fiction: Henry James* (Nebraska Univ. Press, 1972)
- Miller, J. Hillis, *Charles Dickens: The World of His Novels* (Indiana Univ. Press, 1973; first published 1958)
- Monod, Sylvère, *Dickens Romancier* (Hachette, 1953)

- Muir, Edwin, *The Structure of the Novel* (The Hogarth Press, 1967; first published 1928)
- Newlin, George (ed.), *Every Thing in Dickens* (Greenwood Press, 1996)
- Nisbet, Ada, *Dickens and Ellen Ternan* (California Univ. Press, 1952)
- Orwell, Sonia & Angus, Ian (eds.), *The Collected Essays, Journalism & Letters of George Orwell*, 4vols. (Secker & Warburg, 1968)
- Page, Norman, *A Dickens Chronology* (Macmillan, 1988)
- Patten, Robert L., *Charles Dickens and His Publishers* (Oxford Univ. Press, 1978)
- Pierce, Gilbert A., *The Dickens Dictionary* (Haskell House, 1972)
- Priestley, J. B., *English Humour* (Heinemann, 1976)
- Quirk, Randolph, *The Linguist and the English Language* (Edward Arnold, 1974)
- Raina, Badri, *Dickens and the Dialectic of Growth* (Wisconsin Univ. Press, 1986)
- Reynolds, Margaret (ed.), *The Dickensian* (No. 416: Vol. 84 Part 3, The Dickens Fellowship, 1988)
- Sanders, Andrew, *The Victorian Historical Novel 1840–1880* (Macmillan, 1978)
- Sanders, Andrew (ed.), *The Dickensian* (No. 393: Vol. 77 Part 1, The Dickens Fellowship, 1981)
- Scholes, Robert and Kellogg, Robert, *The Nature of Narrative* (Oxford Univ. Press, 1968; first published 1966)
- Schwarzbach, F. S., *Dickens and the City* (The Athlone Press, 1979)
- Secor, Marie Jennette, *Dicken's Rhetoric: A Study of Three Bildungsromans* (published on demand by University Microfilms, 1972)

- Silverman, O. A. (ed.), *Epiphanies* (Lockwood Memorial Library, University of Buffalo, 1956)
- Slater, Michael, *Dickens and Women* (J. M. Dent & Sons Ltd, 1983)
- Smith, Grahame, *Dickens, Money, and Society* (California Univ. Press, 1968)
- Steiner, George, *Language and Silence* (Penguin Books, 1979; first published by Faber & Faber 1967)
- Stone, Harry (ed.), *Dickens' Working Notes for His Novels* (Chicago Univ. Press, 1987)
- Sucksmith, Harvey Peter, *The Narrative Art of Charles Dickens: The Rhetoric of Sympathy and Irony in His Novels* (Oxford: Clarendon Press, 1970)
- Thomas, R. George, *Charles Dickens: Great Expectations* (Edward Arnold, 1971; first published 1964)
- Thurley, Geoffrey, *The Dickens Myth* (Routledge & Kegan Paul, 1976)
- Tillotson, Geoffrey, *A View of Victorian Literature* (Oxford: Clarendon Press, 1978)
- Tillotson, Kathleen (ed.), *The Letters of Charles Dickens*, Vol. IV (Oxford: Clarendon Press, 1977)
- Tomalin, Claire, *The Invisible Woman: The Story of Nelly Ternan and Charles Dickens* (Alfred A. Knopf, 1991)
- Tomlin, E. W. F. (ed.), *Charles Dickens* (Weidenfeld & Nicolson, 1969)
- Vinson, James (ed.), *Novelists and Prose Writers* (Macmillan, 1979)
- Walder, Dennis, *Dickens and Religion* (George Allen & Unwin, 1981)
- Wall, Stephen (ed.), *Charles Dickens* (Penguin Books, 1970)
- Watt, Ian, *The Rise of the Novel* (Chatto & Windus, 1957)
- Waters, Catherine, *Dickens and the Politics of the Family* (Cambridge Univ.

- Press, 1997)
- Welsh, Alexander, *The City of Dickens* (Oxford: Clarendon Press, 1971)
- Widdowson, H. G., *Practical Stylistics: An Approach to Poetry* (Oxford Univ. Press, 1992)
- Wilson, Angus, *The World of Charles Dickens* (Martin Secker & Warburg, 1970)
- Wilson, Edmund, *The Wound and the Bow* (Houghton, 1941)
- Yamamoto, Tadao, *Growth and System of the Language of Dickens* (Kansai Univ. Press, 1950)
- Young, G. M., *Victorian England: Portrait of an Age* (Oxford Univ. Press, 1953; first published 1936)

[あとがき]

1974年（昭和49年）3月に奈良教育大学教育学部文科英語専攻を卒業したあと、大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程英語教育専攻に進学し、1976年（昭和51年）3月修了後、さらに関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程英文学専攻に進み、1979年（昭和54年）3月、今で言う満期退学、正式な言い方で言えば、所定単位取得後退学した。当時はおそらく、ドクターコースとは言え、教える側にも学ぶ側にも、博士号取得という意識は皆無だったと思う。「所定単位取得後退学」で充分、というのが当時の一般的認識だったような気がする。

就職の心配をすることはなかったと思う。同じ外国文学でも他領域のことは知らないが、少なくとも当時の英米文学の分野においては、きつとつぶしが効くということであろうか、大学院修了生は大学の「英語」の教師に就職することができた。現に筆者自身、大学院在学中に常磐会短期大学専任講師に、そして所定単位取得後退学と同時に、近畿大学教養部専任講師に就任することができた。恥を忍んで言うが、当時の筆者は、留学どころか、日本から一歩も外に出たことはなかった。しかるに大学の英語の教師になれたのだ。あの頃の筆者は、今から思えば赤面の至りだが、英米の研究機関に留学して基礎から鍛え直すという発想は無く、あきれかえるほどに能天気な若者だった。あの頃を思い出すだけで冷汗ものだ。

だからドクターコースの三年間は、ひたすら英米文学作品の読解に耽溺した。ほかに何も考える必要はなかった。当時の大学院担当教授たちは、時代とジャンルを超えて、英米のいろんな作品を、それも翻訳のない難解なテキストばかりを選んで授業をした。教授陣は、ひたすら文学作品の読み方の極意を院生に伝授しようとしたのではないか。まるで師匠が弟子に落語のネタ

を口写して直伝するように。今主流のグループディスカッションもプレゼンテーションもスピーチクリニックも、あの時代にはいっさい無かった。

筆者のドクターコース時代の指導教授であった大西昭男（義父）は、2005年（平成17年）2月に逝去したが、亡くなる前、即ち、すべての役職から離れ悠々自適の生活を送っていた時、「これまでの己の英文学研究って一体何だったのか」と自問し続けていた。かつて数多くの教え子を大学の教壇に送り出してきた大西昭男名誉教授の眩きは、当時50代半ばの筆者には衝撃的だった。筆者の場合、関西大学内で学内移籍を繰り返すたびごとにその想いは徐々に強まっていたが、筆者よりははるか世代が上の大西昭男名誉教授までもが英米文学研究への疑義を抱いていたとは知る由も無かった。

すっかり時代は変わってしまった。ただし今、文学そのものが衰退したのではない。Fan Fiction（「二次創作」）等は、非常に盛んである。活字文化は決して衰えてはいない。一日の仕事が終わった後、余暇を用いて、パソコンに向かってせっせと創作活動に勤しむ日本の老若男女の数はかなり多いだろう。彼らが集うさまざまなコミュニティのイベントは侮れない。

停滞気味なのは、日本の英文学研究である。往時の勢いは無い。大学院重点化という国の施策で、英文学専攻の院生の数は増え、それに伴って一見したところ学会活動も活発なように見受けられるが、果たしてその内実はどうであろうか。英文学専攻の卒業生や修了生に就職のチャンスが少ないのが致命的である。院生に関して言えば、博士号を取得したあとも、研究職への道は閉ざされている。学部レベルで言うと、実社会から実践的英語運用能力や、法律・政治・経済等の社会科学系の素養や知識がひたすら求められるため、英文学研究は自ずと敬遠されがちとなる。世の中は、即戦力を求めるようになったのだ。

筆者は、2013年（平成25年）10月5日・6日開催の日本英文学会中部支部第65回大会で「特別講演」を依頼されたが、そのときのプログラムに載

せた講演要旨は以下の如くである。本書執筆の趣旨と全く同じゆえ、転載して、この「あとがき」を終えたい。

日本は今、重篤な状況にある。特に若年層の正規雇用が困難を極めており、彼らを覆っている閉塞感は筆舌に尽くし難い。我々大学人は、活路を開くべく教育改革に邁進し、たとえば英語英文学関連で言えば、実践的言語コミュニケーション育成を前面に押し出した。この結果、明治・大正・昭和を通じて人文学系の諸領域の牽引役を果たし、圧倒的な力と輝かしい実績を誇ってきた日本の英文学研究は、いくぶん時代に取り残された感があると言えよう。迷走し生彩を失いかけている今日の日本の英文学研究は、しかし、管見の限りでは、歴史と伝統に裏打ちされた尋常ならざる「何か」を秘めている。それを明らかにするためにも私は、温故知新の精神に則り、日本の英文学研究界を主導してきた過去の知の巨人たちの言説を傾聴するに如くはないと思う。これによって今日の日本の英米文学界が抱える問題を剔抉し、社会性のある英文学の地平を拓きたいと念ずる。

本書の刊行は、「関西大学研究成果出版補助金規程」に拠るものである。本書出版に際して、関係各位、とりわけ岡村千代美氏をはじめとして関西大学出版部出版課の方々から多大なご支援を賜り、心から謝意を表したい。

また筆者は、平成 25 年度春学期は国内研修員であり、そのため、「本研究の一部は、平成 25 年度春学期関西大学研修員研修費によって行った」ものであることも付記しておく。

2013 年（平成 25 年）9 月

宇佐見 太 市 記す

[人名索引]

[あ行]

アーノルド, マシユー 41
饗庭篁村 174
青木雄造 61
浅野和三郎 174
アノー, ジャン=ジャック 343
天野郁夫 380
荒川龍彦 11, 12
アレン, ウォルター 256
イーグルストン, ロバート 39, 40,
41, 43
石田英敬 44
泉鏡花 120
伊勢芳夫 37, 39, 42
伊丹十三 253, 254
伊藤整 3, 5, 8, 9, 10, 13, 20, 21
井上俊 367
ウィップル 90
ウイドウソン, H. G. 43
ウィルソン, アンガス 49, 52, 66,
108, 109, 136, 140, 147, 201, 272
ウェーバー, マックス 24
植田康夫 357
ウェルズ, H. G. 255
ウォー, イヴリン 333
梅棹忠夫 381
ウルフ, ヴァージニア 255, 256, 258
Adrian, Arthur A. 230
江藤淳 4, 12, 33, 34, 35, 36, 37, 315,
316, 321, 374
海老池俊治 62, 63

エリオット, T. S. 255
エンデ, ミヒャエル 331
オーウェル, ジョージ 61, 62
大江健三郎 159
大久保喬樹 326
オースティン, ジェイン 115, 272
太田三郎 316
大津由紀雄 12, 16, 17
大西昭男 304
大橋栄三 174
岡村愛蔵 174
岡村直美 257
奥泉光 381
オトゥール, ピーター 254
小淵恵三 305

[か行]

カーモード, フランク 263, 264, 266
カザミアン, ルイ 199
加藤周一 7, 8, 168, 169, 259, 274, 275
加藤秀俊 377, 381
カフカ 317
カヴニー, ピーター 159
柄谷行人 321, 374, 375, 377
河合隼雄 305
川勝平太 305
川澄英男 313
川本静子 50, 84, 85, 87, 101, 114, 128,
135
キーン, ドナルド 8, 9, 10
北川梯二 180

木田幸紀 344
キップリング, ラドゥヤード 253
キュアロン, アルフォンソ 131, 132,
134, 136, 143
桐生操 326
草野柴二 174
クック, ガイ 43
國重純二 16, 17, 301, 322
国弘正雄 341, 342
厨川文夫 33
クルックシャンク 146, 154, 180
グレーザー, ミッチ 131
ケストナー, エーリヒ 329, 330, 331
ケトル, アーノルド 278
ケニー, ショーン 173
Kennedy II, George E. 162, 163
小池滋 180, 182, 209, 224, 323
香内三郎 323, 356
河野多恵子 325
ゴールズワージー, ジョン 255
小島静子 179
後藤明生 131
近藤耕人 323, 324, 355, 366
コンドン, デボラ 182

[さ 行]

斎藤勇 20, 321
齊藤美奈子 21
斎藤兆史 43, 44
堺利彦 174, 175
桜井哲夫 366, 367
指昭博 360
シェイクスピア, W. 5, 378
ジェイムズ, ヘンリー 279, 280, 282,
295, 307, 309, 310, 381
司馬遼太郎 24, 376, 377

朱牟田夏雄 177
シュリア, ミシェル 326
ジョイス, ジェイムズ 255, 256, 381
ショー, ジョージ・バーナード 91,
92, 135
白井厚 21
菅原克也 43, 44
鈴木建三 301, 302, 311, 320, 321
スタイナー, ジョージ 16, 17, 309,
317
ストール, クリフォード 381
スマイルズ, サミュエル 200, 201
スミス, アダム 199
スレイター, マイケル 51
ゾペテイ, デビット 378, 379
ゾラ 107

[た 行]

ターナン, エレン 140
高田里恵子 21, 22
高橋和巳 376
高橋五郎 174
高橋康也 115
滝浦真人 310, 311
滝裕子 104, 105, 107, 108, 109
竹内洋 380
竹友藻風 11
多田元樹 369
立花隆 381
巽孝之 34, 315
田辺昌美 13
田辺洋子 182
谷崎潤一郎 106
谷沢永一 338, 339
ダレスキー, H. M. 101, 120
チール, デボラ 131, 132, 134, 143

チェスタートン, G. K. 51, 176
 近松門左衛門 165
 辻邦生 180, 202
 津島佑子 168
 津田梅子 174
 坪内逍遙 15, 16, 32
 ツルゲーネフ 105
 デイケンズ, チャールズ 5, 13, 49,
 50, 51, 52, 61, 62, 64, 66, 67, 68, 71,
 72, 73, 80, 83, 84, 85, 86, 87, 90, 96,
 97, 101, 102, 109, 113, 114, 115,
 116, 117, 118, 119, 128, 129, 131,
 132, 134, 135, 136, 137, 140, 142,
 143, 145, 146, 147, 152, 154, 159,
 162, 163, 166, 167, 168, 169, 170,
 173, 175, 176, 177, 178, 179, 180,
 181, 182, 183, 185, 188, 189, 195,
 197, 199, 200, 202, 204, 205, 206,
 208, 209, 213, 214, 218, 220, 221,
 223, 224, 227, 228, 229, 234, 238,
 239, 241, 242, 243, 244, 245, 246,
 247, 248, 250, 251, 284, 313, 314,
 315, 333, 334, 380, 382
 ティロットソン, キャスリーン 90,
 135
 照山直子 182
 ドイル, コナン 176
 ドーデ, アルフォンス 176
 常盤新平 31, 377
 ドストエフスキー 176
 トドロフ, ツヴェタン 38, 39, 40, 43
 富岡多恵子 325, 378, 379
 富山太佳夫 311, 321
 外山滋比古 375, 376, 377
 トリリング, ライオネル 269

〔な 行〕

中上健次 345, 346
 中島梓 326, 335, 336, 337, 338, 378
 永嶋大典 269
 中曾根康弘 303
 中西輝政 30
 中野利子 6, 7
 中野好夫 3, 4, 5, 6, 7, 8, 13, 20, 21,
 323
 中村能三 177, 179
 中山知子 181
 夏目漱石 12, 15, 16, 18, 33, 37, 108,
 321, 322, 330, 362
 ナボコフ, ウラジミール 333
 西垣通 359, 367, 381
 西島建男 327
 西部邁 345
 西脇順三郎 33
 ネルヴァル 105

〔は 行〕

ハーディ, トマス 380
 バート, ライオネル 173
 Palmer, Harold E. 382
 バジヨット, ウォルター 146, 170
 長谷部史親 173, 174
 長谷部葉子 36, 37
 バット, ジョン 90, 135
 バッハ 71
 羽仁進 343
 馬場孤蝶 176, 177
 バルザック 107, 115, 178
 ビードネル, マライア 140
 ピカート, マックス 378, 379
 平野啓一郎 9

平野啓子 345
フィールディング, ヘンリー 256
フェリス, ジェフ 173
フォースター, E. M. 204, 241, 242,
243, 244, 246, 250, 253, 255, 256,
257, 258, 259, 261, 268, 269, 272,
273, 274, 275, 277, 278, 342, 381
フォースター, ジョン 51, 86, 90,
135, 313, 314
深沢由次郎 174
深瀬基寛 11
福田恆存 321, 374
福原麟太郎 179, 321, 323
船橋洋一 305
プリーストーリー 241
Brook, G. L. 74
ブロンテ, エミリ 327
白永瑞 27, 28
紅薔薇 175
ベネット,アーノルド 255
ベンサム 199
ヘンデル 71, 72, 73, 80
ホイジンガ 345
ホガース 154
本多顕彰 32, 33
本多季子 179

[ま 行]

前田愛 330, 331
マクラーハン 367
榊井迪夫 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28,
29, 31
松浦和夫 34, 35
松村昌家 108
松本恵子 176
松本健一 305

松本泰 176
松元寛 28, 29, 30, 31
松本道介 21, 22
美内すずえ 325
水村美苗 381
三田誠広 336, 337, 338
宮崎孝一 52, 53, 84, 135
宮崎芳三 3, 4, 19, 20, 321
ミュア, エドウィン 204, 205, 206,
243
ミル, ジョン・スチュアート 199
ミルトン 5
ミルハウザー 91, 135
村上春樹 310, 378
村松増美 341
メレディス, ジョージ 256
モーム, サマセット 62
持丸良雄 181
森田草平 108
森田芳光 361, 363, 364, 365, 366, 367,
368
森瑤子 342, 343
森六郎 26

[や 行]

八島智子 44
保永貞夫 181
柳田泉 174
山口昌男 358
山崎貞 174
山崎正和 136, 357, 366
山本史郎 43, 44
山本忠雄 3, 4, 5, 12, 13, 20, 21
吉田健一 9, 321, 374
吉田碧寥 174
吉本ばなな 361, 362, 363, 366, 367,

368

米原万里 19

〔ら 行〕

ラター, マイケル 209
 リーヴィス, F. R. 43, 115, 152, 185,
 192, 196, 201, 202, 221, 229, 234,
 241, 279, 280
 リーン, デイヴィッド 134, 136, 342
 リットン, エドワード・ブルワー
 84, 85, 87, 134, 135
 ルイス, C. S. 110
 Lubbock, Percy 204
 ロレンス, D. H. 255, 256

〔わ 行〕

ワーズワース 5, 112
 ワイルド, オスカー 106, 108, 323,
 324, 355, 356
 脇明子 120, 121
 鷲巣尚 178

[事項索引]

[あ 行]

悪漢小説 63
アメリカ英語 24, 313, 314
アメリカ文化論 24
イギリス英語 313
イギリスの知恵 30
intertextuality 131
インド英語文学 42
英語教育実践学 16, 17, 36, 37
英語教員養成機関 32
英語第二公用語化 305
映像メディア 345, 359, 361, 366, 368,
382
エピファニー 270, 271, 278

[か 行]

改心 227, 228, 229, 230, 234, 235, 236,
237, 238, 248
学習指導要領 302, 303
活字メディア 335, 340, 344, 345, 346,
348, 349, 355, 356, 357, 359, 361,
366, 367, 368, 369, 382
家庭のドラマ 221
戯画の人物 243
教員養成制度 372
教員養成の問題 373
教養小説 61, 62, 63, 65, 68, 101, 109,
114, 128, 129, 145, 146, 183, 283,
284, 287
寓話小説 287

劇的小説 205, 206
検閲文書 34
コミュニケーション 12, 16, 301, 302,
303, 304, 305, 306, 308, 309, 310,
311, 320, 321, 326, 335, 336, 337,
338, 339, 351, 358, 359, 367, 378,
379, 380, 382
語用論 43

[さ 行]

GHQ 12, 34, 316
実践人文学 28
社会主義運動 175
社会小説 145, 146, 147, 183
社会人文学 28
習慣形成理論 383
宿命の女 92, 106, 107, 110
情報 308, 309, 310, 316, 362, 381, 382
贖罪 6, 7
新救貧法 145
人文学の学知 37
人文学の知性 14, 19
人文的知性 31
スノビズム 66
性格小説 204, 205, 206
清教主義 5, 23
戦争文学 26

[な 行]

認知学習理論 383

noble savage 286

〔は 行〕

ハワース牧師館 324

ピカレスク小説 145, 146, 183

風俗小説 147

プロンテ姉妹 311, 319, 324, 325, 326,
327

文明開化 18

本文改訂 83, 85, 135, 315

〔ら 行〕

ラファエル前派 92

著者略歴

- 1950年（昭和25年）2月 愛知県一宮市生まれ
1974年（昭和49年）3月 奈良教育大学教育学部文科英語専攻卒業
1976年（昭和51年）3月 大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程
英語教育専攻修了
1979年（昭和54年）3月 関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程
英文学専攻所定単位取得後退学

大学院博士課程後期課程在学中に勤めた常磐会短期大学専任講師から、近畿大学専任講師・助教授、さらに関西大学助教授を経て、1992年（平成4年）4月関西大学教授となり、現在に至る。関西大学外国語教育研究機構長、関西大学大学院外国語教育学研究科長、関西大学外国語学部長等を歴任。

単著書

『ディケンズと「クリスマス・ボックス」』（関西大学出版部）

共著書

『イギリス文学評論IV』（創元社）、『イギリス小説入門』（創元社）、
『ヴィクトリア朝の小説』（英宝社）、『プロンテ文学のふるさと』
（大阪教育図書）、『外国語研究—言語・文化・教育の諸相』（ユニウス）、
『楽しむイギリス文学—その栄光と現実』（金星堂）、『英米文学と戦争の断層』（関西大学出版部）

共翻訳書

『The BNC Handbook コーパス言語学への誘い』（松柏社）

実践知性としての英文学研究

2014年3月16日 発行

著者	う さ み た い ち 宇佐見 太市
発行所	関西大学出版部 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 電話 06(6368)1121 / FAX 06(6389)5162
印刷所	株式会社 図書印刷 同朋舎 〒601-8805 京都市下京区中堂寺鍵田町2

© 2014 Taichi Usami

printed in Japan

ISBN978-4-87354-572-1 C3098

落丁・乱丁はお取替えいたします。